

# 造影CT検査を受けられる方へ

患者様用

## 1 造影CT検査の説明です。以下をお読みください。

造影剤を用いることにより、病気の状態がより正確に把握でき、今後の治療に役立てることが出来ます。安全な薬ですが、まれに副作用が起こる場合があります。

### 1) CT用造影剤の副作用の種類は次のようなものです。

- ・ 軽い副作用：吐き気、嘔吐、熱感、動悸等で、基本的に治療を要しません。このような副作用が起こる確率は、約100人に 7人以下 つまり 6.3%以下です。
- ・ 重い副作用：呼吸障害、血圧低下、意識障害などでこのような副作用は通常治療が必要で後遺症が残る可能性があります。その為、入院、処置、手術が必要な場合があります。このような副作用が起こる確率は、約 1千人に 1人以下 つまり 0.1%以下です。
- ・ 非常にまれですが、病状、体質によっては約40万人に1人の割合 0.00025%で、死亡する場合があります。
- ・ 腎機能の非常に悪いかたは、造影剤性腎症が発症する恐れがあります。
- \* 尚、造影剤を急速注入する必要がある検査で、血管外に造影剤がもれる場合があります。この場合注射部がはれて、痛みが伴う場合があります。通常は時間がたてば、吸収されるためご心配はいりません。しかし、もれた量が多い場合は、別の処置が必要な場合がありますが非常にまれです。

### 2) CT用造影剤の禁忌について

気管支喘息、重篤な肝障害、重篤な腎障害をお持ちの方は、造影検査を受けることができません。

### 3) 妊娠中の方（または妊娠している可能性のある方）へ

妊娠中の方（または妊娠している可能性のある方）は、主治医と相談して下さい。

### 4) 授乳中の方へ

造影剤使用後の授乳制限はありません

### 5) 検査終了後は

注入した造影剤は尿と一緒に排泄されますので水分制限のない方は、検査終了後水分をたくさん取るようにしてください。

\*\*\*\*\*  
\* 「ビグアイド系糖尿病薬」を服用している患者さんに対してヨード系造影剤を使用 \*  
\* する際には、原則的に次の期間は「ビグアイド系糖尿病薬」の服用を中止してください。 \*  
\* \*  
\* ヨード系造影剤を使用した検査の前後2日間（検査日を含めて5日間） \*  
\* \*  
\* 「ビグアイド系糖尿病薬」を服用している場合は造影検査を中止させていただきます。 \*  
\*\*\*\*\*

注) 当日は検査開始時間15分前に来院するようお願いします。

検査開始時間を過ぎて来院された場合はキャンセルさせていただく場合があります。

検査開始時間は当日の緊急検査の都合により前後する場合があります。

検査後に、もし気分が悪くなったり、体に異変がありましたら市立柏原病院まで連絡してください。

\* わからないことがありましたら、市立柏原病院 放射線科までご質問ください。